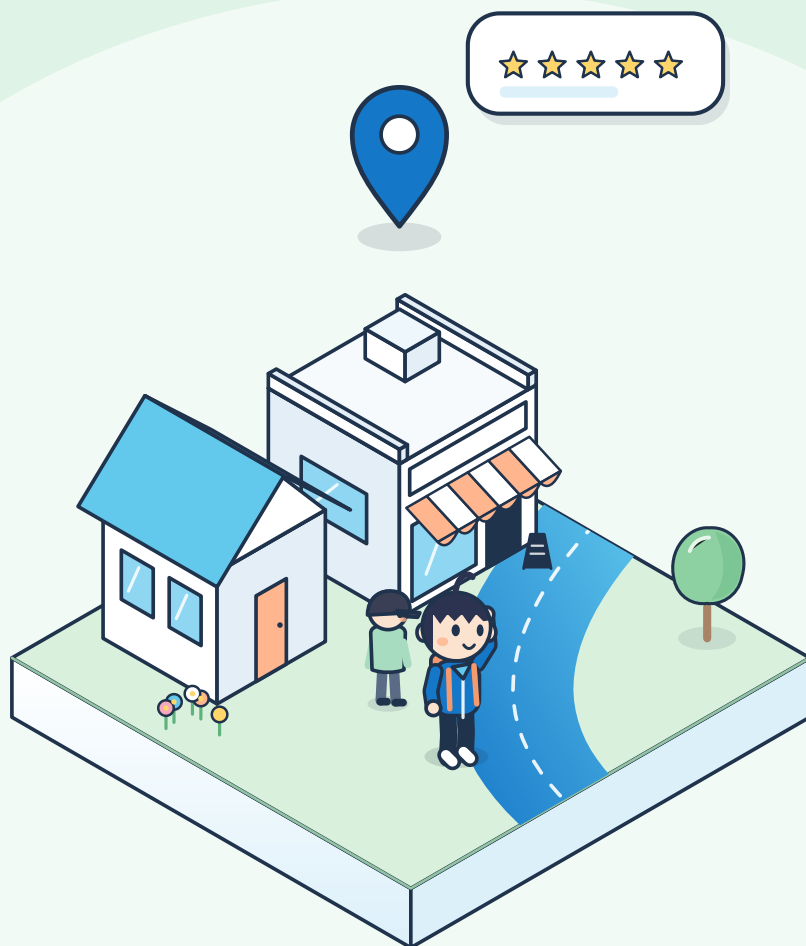


# Googleマップ 見直しチェックリスト

## Googleビジネスプロフィールの30項目

基本情報・写真・口コミ・投稿、そしてAI検索（AIO）への備えまで。印刷して、ひとつずつ確かめながらお使いください。



 はじめに

# 地図で選ばれるお店・会社は、 情報の「手入れ」が行き届いています

「近くの〇〇」を探す人の多くが、Googleマップで候補を見比べています。そこで最初に目にするのが、Googleビジネスプロフィールの情報です。営業時間や写真、口コミへの返信といった一つひとつが、「ここに行ってみよう」「ここに問い合わせよう」と決める材料になります。

最近では、ChatGPTやGoogleのAIに質問してお店や会社を探す人も増えてきました。AIも、Googleビジネスプロフィールやホームページ、口コミなどの情報をもとに答えをつくります。正しい情報をきちんと手入れしておくことが、地図でもAIでも見つけてもらうための土台です。

## このチェックリストの使い方

### 1. 印刷する

パソコンやスマホでGoogleマップを開きながら、ひとつずつ確かめます。

### 2. 印をつける

できている項目の ☐ に印をつけます。分からない項目は空けておきましょう。

### 3. 数える

最後のページで、できている数を数えます。空いている項目から直していきましょう。

**まず**

最初に整えたい、特に大切な項目

**毎月**

月に1回は確かめたい項目

## 01 基本情報

8項目・3ページ

## 02 説明・写真・投稿

7項目・3ページ

## 03 口コミ

5項目・4ページ

## 04 AI検索（AIO）への備え

5項目・5ページ

## 05 毎月の見直し

5項目・5ページ

## 01 基本情報

お客さまが「行けるか・連絡できるか」を判断する情報です。まちがいや古い情報がないかを確認めます。

- ☐ 01 **ビジネス名が、看板や名刺と同じ表記になっている** まず  
地域名やサービス名を足すことは、Googleのガイドラインで認められていません。
- ☐ 02 **メインのカテゴリが、事業の中心を具体的に表している** まず  
「レストラン」より「ラーメン屋」のように、できるだけ具体的なものを選びます。
- ☐ 03 **追加のカテゴリは、実際に提供している事業だけにしぼっている**
- ☐ 04 **住所（店舗がない業種はサービス提供地域）が正しく設定されている** まず  
部屋番号・階数まで入っていると、迷わずに来てもらえます。
- ☐ 05 **通常の営業時間と定休日が、今の営業と合っている** まず
- ☐ 06 **祝日・年末年始・夏季休業などの特別営業時間を、前もって設定している**
- ☐ 07 **電話番号とウェブサイトのURLが正しく、実際につながる・開ける**
- ☐ 08 **社名・住所・電話番号の書き方が、ホームページと一字一句そろっている**  
「1丁目11-4」と「1-11-4」のような小さな違いもそろえます。

## 02 説明・写真・投稿

「どんなお店・会社か」を伝える情報です。行く前に知りたいことが分かるかを確認めます。

- ☐ 09 **ビジネスの説明に「誰に・何を・どんな思いで」が書かれている** まず  
750文字まで書けます。キーワードを並べず、ふつうの文章で。大事なことは前のほうに。
- ☐ 10 **外観の写真がある（初めての人が入口を見つけられる）**
- ☐ 11 **店内・事務所の様子が分かる写真がある**

☐ 12 商品・料理・施術・作業など、サービスの様子が分かる写真がある

☐ 13 働いている人の様子が分かる写真がある  
どんな人が対応してくれるのかが分かったら、安心して問い合わせてもらえます。

☐ 14 ロゴとカバー写真を設定している

☐ 15 最後の投稿から1か月以上あいていない 毎月  
新しいメニュー、季節の取り組み、お知らせなど。動いているお店だと伝わります。

## 03 口コミ

口コミと、それへの返信は、初めての人がいちばんよく読む情報のひとつです。

☐ 16 届いた口コミに、できるだけ早く返信している まず

☐ 17 厳しい口コミにも、感情的にならずに丁寧に返信している  
事実の確認、お詫び、改善することを、落ち着いた言葉で伝えます。

☐ 18 返信の文が、毎回同じ定型文になっていない  
口コミの中身にふれて返すと、読んでいる人にも誠実さが伝わります。

☐ 19 満足してくださったお客さまに、自然な形で口コミをお願いしている  
口コミのページにすぐ行けるQRコードを用意しておくと、お願いしやすくなります。

☐ 20 見返りと引きかえに口コミを集めていない まず  
「口コミを書いたら割引」などは、Googleのルールで禁止されています。

見返りがあることを隠した口コミは、景品表示法のいわゆるステルスマーケティング規制の対象になるおそれもあります。

## 04 AI検索（AIO）への備え

AIは、Googleビジネスプロフィール・ホームページ・口コミ・外部のサイトの情報をもとに答えます。同じ情報を、いろいろな場所で同じ書き方で出しておくことが大切です。

- ☐ 21 サービス・メニューと料金の目安を、プロフィールとホームページの両方に載せている
- ☐ 22 よく聞かれる質問への答えを、ホームページに文章で書いている  
「料金はいくらかから?」「土日も対応?」など。画像の中の文字はAIに読まれにくいので、本物の文字で。
- ☐ 23 対応できる地域・予約や問い合わせの方法を、文章で書いている
- ☐ 24 ポータルサイトやSNSなど、外部のページの基本情報も同じ書き方にそろえている
- ☐ 25 AIに、お客さまが使いそうな言葉で聞いて、見え方を確かめた 毎月  
例：「(地域) でおすすめの (業種) は?」「(社名) はどんな会社?」。まちがいがあれば、もとの情報を直します。

## 05 毎月の見直し

日を決めて、月に1回確かめる項目です。カレンダーに予定として入れておくのがおすすめです。

- ☐ 26 利用者からの提案などで、情報が知らないうちに変わっていないか確かめた 毎月
- ☐ 27 新しい写真を1枚以上追加した 毎月
- ☐ 28 投稿を1回以上した 毎月
- ☐ 29 パフォーマンス（見られた数・電話・経路・ウェブサイトへのクリック）を前の月と比べた 毎月
- ☐ 30 同じお店の重複したプロフィールや、移転前の古いプロフィールが残っていない

 チェックが終わったら

## できている数を数えてみましょう

できている項目 \_\_\_\_\_ / 30

## 25～30

よく手入れされています。毎月の見直しを続けながら、写真と投稿で新しい情報を足していきます。

## 15～24

伸びしろがあります。「まず」の印がついた項目から、空いているものを直していきます。

## 0～14

基本情報から整えましょう。01の8項目だけでも、見つけてもらいやすさが変わります。

## すぐに直せない項目があっても大丈夫です

すべてを一度に整える必要はありません。今月は基本情報、来月は写真、というように、少しずつ進めていけば十分です。大切なのは、情報を古いままにしないことです。

## 「うちの場合はどうすれば？」を、30分で一緒に整理します



株式会社ALTIA（アルティア）は、ホームページ・動画・AIO（AI検索・Googleマップ対策）で、中小企業の集客と採用を支えています。チェックリストを使って気になったこと、まだ何も決まっていないことも、お気軽にご相談ください。ご相談・お見積もりは無料です。

無料相談 [www.altia-inc.co.jp/contact/](http://www.altia-inc.co.jp/contact/)  
メール [info@altia-inc.co.jp](mailto:info@altia-inc.co.jp)  
電話 080-5225-0501（平日 10:00～19:00）

